

# 木と私たち 第6回講座 庭の手入れを経験しよう

「樹木の特徴などを学び、

剪定など樹木の管理を理解します」

平成27年11月28日(土)

富士見市東大久保 受講生宅

久しぶりの秋晴れの中、富士見市人材センターから講師として本多氏を紹介してもらい、受講生11名が参加して植木の剪定などを学びました。

今回は黒松の剪定を中心に取り組みました。

今の時期は剪定に向いていること、冬に向かっての樹木の消毒に関して、実際の薬剤を見せてもらいながら、その特徴や注意事項を教わりました。

カイガラムシ・ハダニには人に安全なマシン油乳剤を主剤にして、そのほかの薬剤を混ぜて散布する方法、その他の薬剤はお馴染みの「スミチオン」「オルトラン」や「ベンレート」「バイレトン」を教えてもらいました。

自己紹介の後、本日の松の剪定について実際に手本を示してもらいました。

松の木の下に葉が落ちるので、ブルーシートを敷き詰め、受講生全員が手分けして作業を始めました。



まず、古葉（長い）を取ってから、剪定をします。松の葉はとげがあるので、奥から手を入れてむしり取る要領です。

枝の先に芽が多くある場合は間引きます。芽を取っても下に葉があればそこから新しい芽が出てくるので、芽は2つ程度に減らします。枯れた枝や無駄な枝も切り落とし、全体出来に枝の間から空が見えるように透くようにします。



高いところは脚立をしっかりと立てて作業をして、約一時間程度でそれなりの剪定ができました。



松の剪定のあとは庭にあるサルスベリ、イトヤナギ、サザンカなど・・・



剪定などの知識も継続して作業に取り組むことで身につきます。松は早春にも手入れをすることがあるとのことで、来年の開講前の講座も検討して行きます。